

流した水はどこへ行く？

6月は環境月間です。私たちがシンクやお風呂、トイレから流した水が、どこでどんな処理をされて海へ放流されるのか、たどっていきましょう。



「潮香苑」に運ばれる

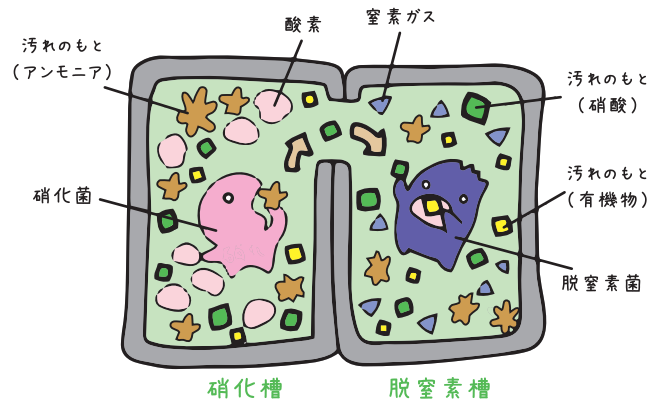
新富町内の家庭などから発生する「し尿」、「浄化槽」に貯められた汚泥は、トラックで富田浜にある、し尿処理施設「潮香苑（ちようこうえん）」に運び込まれます。このし尿や汚泥は、日によって汚濁の濃度が違います。毎朝、においや色からどれほど汚濁しているか検査を行い、適正な水質になるよう徹底して管理されます。



（有）新富衛生社がし尿や浄化槽から回収した汚泥は、においを屋外に漏らさないようポンプを通して受入槽に投入。

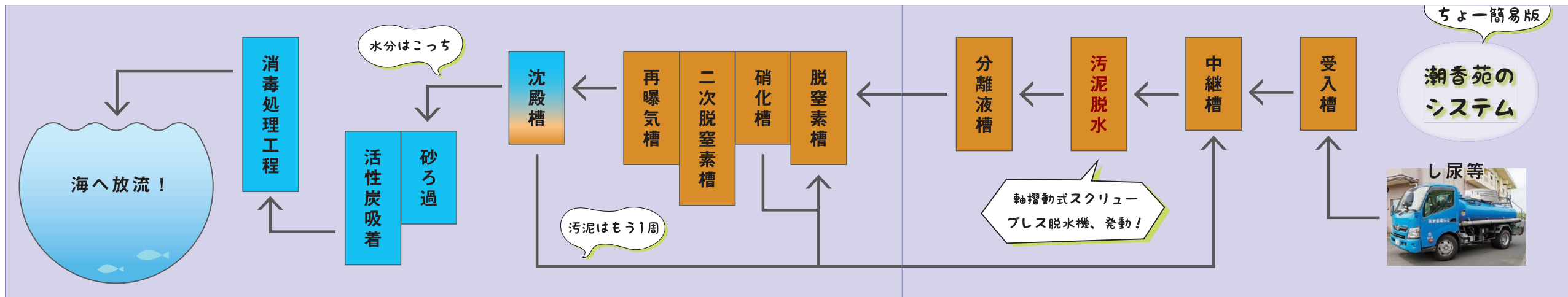
菌の力で汚れをとる

大きな汚泥を取り除いたら、菌に汚れのもとを分解してもらいます。硝化菌がアンモニアから硝酸を作り、脱窒素菌が硝酸と有機物を使って窒素ガスを作ります。これをくり返します。



きれいにして海へ返す

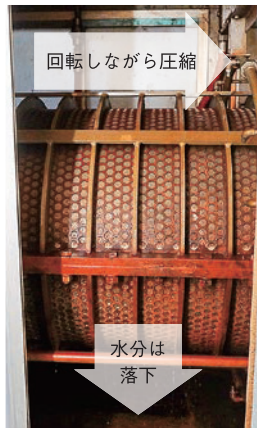
沈殿槽でさらに水分と汚泥を分離したら、水分を砂や活性炭でろ過して、細かな汚れを取り除きます。最後に消毒をして、日向灘へと放流されます。



脱水・圧縮で費用削減

一般的なし尿処理では、し尿をすぐ脱窒素槽へ送り、大きな環境負荷やコストをかけています。しかし潮香苑では「軸摺動式スクリープレス脱水機」にかけて、大きな汚泥を圧縮・脱水して取り除きます。このとき脱水された汚泥は、全国有数の含水率の低さで、低いほど経費削減につながります。

中のスクリーでゆっくり圧力をかけ、汚泥を搾りきる。



脱水された汚泥。エコクリーンプラザみやざきで焼却される。



浄化槽補助を行っています

新富町では、生活雑排水やし尿を合併処理浄化槽によってきれいにする事業を推進しています。合併処理浄化槽は家庭等に個別に設置され、台所やトイレから出る生活雑排水やし尿を微生物の働きで処理します。新たに浄化槽を設置する場合、単独処理浄化槽・汲み取り便槽からの合併処理浄化槽に転換する場合などには、新富町から補助金が交付されます。詳しくは都市建設課までご連絡ください。 ☎ 33・6072

廃食用油回収にご協力を！

水質浄化および資源再利用の観点から、新富町ではてんぷら油などの廃食用油回収を毎週月・水・金曜日に行っています（食用油のみ）。プラスチック製の油容器かペットボトルに入れて、ゴミ収集所の「廃食用油回収箱」へ入れてください！



においもしっかり除去

処理中に発生したにおい（臭気）は低濃度・中濃度・高濃度の3種類に分けられます。低濃度は活性炭で脱臭します。中濃度・高濃度の臭気は、薬液で洗浄し、においの成分を科学的に分解・除去したあと、活性炭に通します。この処理のおかげで、潮香苑の建物内は臭くなく、屋外に放出される際にも、においはほとんどありません。

潮香苑の処理システムは、全国から視察が来るほど環境負荷や費用の削減を実現しています。今後も高度な水処理を続けるために、**油（特に天ぷら油）**は台所の排水口には流さないように、ご協力よろしくお願いします！



水ingAM株式会社 新富管理事務所
所長 岡田 憲治さん

環境整備・維持のため更新しました

【令和2年度 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業（防衛省）】

潮香苑にて、適正な運転管理を行うための監視システムを更新しました。



塵芥中間受入施設（旧藤山ごみ処理場）にて使用する、ホイルローダーを更新しました。

